

令和4年度地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書

(市町村分) 個票

自治体名

萩市

(都道府県: 山口県)

事業メニュー	重点課題事業		
区分	自治体間連携を伴う取組に対する支援		
関連事業メニュー	1.1 結婚に対する取組		
個別事業名	GO-ENプロジェクト推進事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	新規
実施期間	交付決定日 ~	令和5年3月31日	事業開始年度 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	2,500,000		円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>国勢調査によると、令和2年の萩市の人口は44,626人となっており、最多であった昭和30年の97,744人から半数以下となっている。年齢3区分別の人口推移では、平成2年に年少人口が老年人口を下り、令和2年には8.8%まで低下している。また、人口動態調査によると、出生数は昭和49年に1,000人を割り込んで以降、減少傾向が続き、令和2年には189人となっている。昭和30年から65年で約10分の1、平成12年から最近20年間で半数以下に減少している。</p> <p>萩市では、このような著しい少子化を重点課題とらえており、政策体系の最上位に位置づけられる萩市基本ビジョンにおいて「子育ての幸せが実感できるまちづくり」を基本方針の1つとしている。基本方針に沿ったKGI、KPI及び個別、具体的な施策を定めた第2期萩市総合戦略では、KGIを「希望する子どもの数(子どもを持つ予定人数)の増加」とし、その達成に向けて、包括的な子育て支援や、出会い・結婚サポートに関連するKPIを8項目設定している。具体的な施策では、「結婚を希望する男女の出会いの場の充実」、「子育て世帯への経済的支援の推進」など10の施策を定めている。</p> <p>これらKGI、KPI及び具体的な施策の達成状況把握及び効果検証のため、萩市総合戦略推進委員会を設けている。本委員会は、産学官金労言の各分野の方々や地域住民によって構成されており、検証結果は萩市議会で報告をすることとしている。また、18歳以上の市民2,000人(無作為抽出)を対象に、萩市市民満足度調査を実施し、各施策に対する満足度や重要度の計測を行っている。本個別事業に直接関連する直近(令和3年度実施分)の実績では、総合戦略におけるKPI「結婚支援制度を活用した成婚数(累計)」が0件(令和6年度目標値10件)であった。萩市市民満足度調査における項目「出会い・結婚サポートの充実」の満足度が13.4%であり、全35項目中、34番目の順位であった。この結果から、特に、出会い・結婚サポートに関連する現行の施策の見直しや新規事業の実施が急務であると言える。</p> <p>本個別事業は、KPI「結婚支援制度を活用した成婚数(累計)」の達成及び「出会い・結婚サポートの充実」の満足度向上を目指すための施策と位置付けられ、市全体の施策という観点からは、(複合的な要因による)少子化を食い止めるための10の施策の中の1つとして、出会いの場の創出や結婚支援の機能を担う事業と位置付けられる。</p>		
個別事業の内容	<p>(個別事業の内容) ※(注)3</p> <p>&lt;課題への対応&gt;</p> <p>本市においては、「少子化問題」が喫緊の課題となっており、萩市市民満足度調査において、「出会い・結婚サポートの充実」の満足度が低いことから、その一因に出会いの場や結婚支援の不足が挙げられる。そのことを受けて、出会いの場の創出や結婚支援の充実に向けているが、この支援には多様な施策が求められ、参加者、登録者等、人口規模が小さい本市のみでは対応が難しくなっている。そこで、この問題を解決するため、自治体間で連携して新たな実施主体のもと、事業を実施することで、参加者、登録者の増加が見込まれ、求められる多様性に対するきめ細やかなサービスを行うことが可能となることから、出会いの場の創出及び結婚支援の充実につながると期待できる。</p> <p>&lt;取組内容&gt;</p> <p>萩市、長門市及び美祢市が結婚を希望する独身男女の結婚活動を支援する取組を連携して行うため、GO-ENプロジェクト実行委員会を立ち上げ、当実行委員会を実施主体とした以下の取組を行う。</p> <p>①GO-ENプロジェクト実行委員会の立ち上げ、運営</p> <p>3市の各担当部署職員に加え外部委員を招聘し、プロジェクトの構築、実践を行う。</p> <p>また、本プロジェクトの広報活動として、WEBサイトやチラシ等を活用し周知を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報の目的 本プロジェクト及びイベント等の周知のため。</li> <li>・広報のターゲット 3市管内の結婚活動を行っている又はこれから行う独身男女。</li> <li>・広報媒体の選定理由 上記ターゲットに対して効果が見込めるWEBサイトに加え、独身男女の親御さんや地域のおせっかいさんに対して効果が見込めるちらしでの周知も併せて行う。</li> <li>・広報の回数等 ポスター【150枚】:公共施設(公民館等)及び管内主要店舗等へ掲示(計150施設) ちらし【5,000枚】:上記ポスター掲示箇所に設置(各10~150枚/箇所 計4,500枚)、イベント時配付500枚</li> </ul> <p>②GO-ENセンターの運営</p> <p>結婚活動の相談窓口となるGO-ENセンターを3市それぞれに開設、相談員を各1名設置し、連携を図りながら運営を行う。</p> <p>実施内容:登録者同士の引き合わせ 結婚活動に係る相談の対応 結婚支援に関する情報提供 3市担当課等関係機関との連絡調整 開所予定日:令和4年6月1日 開所日数:平日 1日/週(各市) 土・日 3日/月(萩市) 2日/月(長門市・美祢市)</p> <p>③婚活イベント及びスキルアップセミナーの開催</p> <p>出逢いの機会を創出する婚活イベントや、結婚活動に自信を持って臨むことを支援するスキルアップセミナーを開催する。</p> <p>概要:(ア) GO-ENセンター登録者限定の婚活イベント及びスキルアップセミナー 【資料3-1】及び【資料3-4】 (イ) 結婚に対し真剣に取り組む者を対象とした参加人数を限定した婚活イベント及びスキルアップセミナー 【資料3-2】 (ウ) 結婚への機運を高めてもらうために実施する出逢い創出イベント 【資料3-3】及び【資料3-4】 ※ イベント及びセミナーについては、対面式で実施できない場合、非対面式(オンライン)で開催する。</p> <p>募集予定人数:(ア)のべ272人 (イ)のべ240人 (ウ)のべ140人 実施予定回数:(ア)5回 (イ)3回 (ウ)3回</p>		

各取組のコスト: イベント、セミナー各回については、10,000円/人以下のコストで開催する。【資料3-6】

【次年度以降に向けた事業の方向性】

本市の実情に応じた事業とするため、令和4年度に実施した各取組の成果(GO-ENセンター登録者数、婚活イベント及びセミナーの参加人数)や、各取組に対するアンケート結果に基づき、GO-ENセンターの運営方法や婚活イベント及びスキルアップセミナーの内容等について検証するとともに、新たな取組についても検討する。

【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】

該当なし

【事業実施にあたっての留意点】

本事業の実施にあたっては、実施要領記載の留意事項を踏まえて実施することとする。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値	
	希望する子どもの数(子どもを持つ予定人数)の増加	人	2.27 (令和6年)	2.21 (令和2年)	
結婚支援制度を活用した成婚数(累計)	件	10 (令和6年)	0 (令和2年)		
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績		
	合計特殊出生率	%	1.48 (平成25年～平成29年)		
	婚姻件数	件	87 (令和2年)		
	婚姻率	%	1.9 (令和2年)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値	
	<アウトプット>				
	GO-ENセンターの会員登録者数(3市の合計)	人	150		
	婚活イベント及びスキルアップセミナーの参加者数(3市の合計)	人	488		
	GO-ENセンター登録者限定スキルアップセミナーの参加割合	%	75		
	結婚に対し真剣に取り組む者を対象としたスキルアップセミナーの参加割合	%	60		
	イベント参加割合	%	80		
	<アウトカム>				
	GO-ENセンターへの相談の結果、引き合わせが成立した人数	人	60		
	婚活イベント参加者のうち、マッチングした者の割合	%	30		
	スキルアップセミナー参加者のうち、婚活に対し自信がついた者の割合	%	67		
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	<p>萩市、長門市及び美祢市(以下「3市」という。)が負担金を拠出し、事業実施主体となるGO-ENプロジェクト実行委員会(以下「委員会」という。)を運営、委員会は、各市に開設するGO-ENセンターの運営や、婚活イベント及びスキルアップセミナーを実施する。</p> <p>委員会運営事務は3市の担当課職員等が行い、事務局、イベント担当等役割分担を明確化し、各担当を輪番制で運営を行っていく。</p> <p>また、GO-ENセンター利用者については、相談員との信頼関係を構築していただき、気軽に通っていただけるような環境を整え、伴走型の出逢いサポートセンターとすることで、県の結婚応援センター(以下「県センター」とする。)との棲み分けを行う(県センターはマッチングシステムを主体として取り組まれているため、非対面の相談を希望される方には、県センターを紹介する等棲み分けを行う)。</p>				
	<p>萩市、長門市及び美祢市(以下「3市」という。)が負担金を拠出し、事業実施主体となるGO-ENプロジェクト実行委員会(以下「委員会」という。)を運営、委員会は、各市に開設するGO-ENセンターの運営や、婚活イベント及びスキルアップセミナーを実施する。</p> <p>委員会運営事務は3市の担当課職員等が行い、事務局、イベント担当等役割分担を明確化し、各担当を輪番制で運営を行っていく。</p> <p>また、GO-ENセンター利用者については、相談員との信頼関係を構築していただき、気軽に通っていただけるような環境を整え、伴走型の出逢いサポートセンターとすることで、県の結婚応援センター(以下「県センター」とする。)との棲み分けを行う(県センターはマッチングシステムを主体として取り組まれているため、非対面の相談を希望される方には、県センターを紹介する等棲み分けを行う)。</p>				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	<p>結婚を希望する方を様々な形で応援する「はぎ縁結び応援団」(民間事業者で構成)と連携して、結婚を応援する気運の醸成を図る。</p> <p>「はぎ縁結び応援団」においては、社員・職員への婚活イベント等の周知や参加への後押し、委員会が実施する事業の広報、PRを行うよう依頼する。</p>				
委託契約の有無 ※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合のみ記載	有				
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無	無				

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付けを記載すること。

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和4年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

積算内訳書

1. 地方自治体名	山口県萩市		
2. 個別事業名	GO-ENプロジェクト推進事業		
	対象経費支出予定額:	2,500,000	円

3. 本個別事業に要する費用及びその内訳

No	経費区分	経費区分毎の内訳	総事業費		
			交付対象事業費	交付対象外事業費	
1		【GO-ENプロジェクト実行委員会の負担金】 ①GO-ENプロジェクト実行委員会の立ち上げ、運営 (小計 1,073千円) ②GO-ENセンターの運営 (小計 1,407千円) ③婚活イベント及びスキルアップセミナーの開催 (小計 5,020千円)			
2	諸謝金	①GO-ENプロジェクト実行委員会会議アドバイザー謝金 計70千円 ・謝金 10,000円/h×2h×3回=60,000円 ・費用弁償 90km/往復×37円/km×3回=9,990円	70,000	70,000	
3	需用費	①GO-ENプロジェクト実行委員会消耗品費	143,000	143,000	
4	委託料	①GO-ENプロジェクト広報活動関係委託料 ○WEBサイト作成費【資料1】 638,000円 ○ちらし等デザイン制作、印刷費【資料2】 ・デザイン制作費 143,000円 ・ちらし、ポスター印刷費 79,200円 ②GO-ENセンター相談員委託料 ○萩センター ・窓口業務 1,200円/h×4h/日×73日=350,400円 ・交通費 20km/往復×37円/km×73日=54,020円 ○長門センター ・窓口業務 1,200円/h×4h/日×63日=302,400円 ・交通費 20km/往復×37円/km×63日=46,620円 ○美祢センター ・窓口業務 1,200円/h×4h/日×63日=302,400円 ・交通費 20km/往復×37円/km×63日=46,620円 ③婚活イベント及びセミナーの開催 ○会員限定【資料3-1】【資料3-4】 ・イベント+セミナー 518,200円/回×3回=1,554,600円 ・イベント(小規模) 320,750円/回×2回= 641,500円 ○限定なし【資料3-2】【資料3-3】【資料3-4】 ・イベント+セミナー 561,000円/回×3回=1,683,000円 ・イベント(大規模) 499,000円/回×1回= 499,000円 ・イベント(小規模) 320,750円/回×2回= 641,500円	6,983,000	6,983,000	
5	使用料及び賃借料	②GO-ENセンター機器リース料 計304千円 ・PCリース料(複合機含む。3台分。)【資料4】 19,140円/月×10月=191,400円 ・スマートフォンリース料(通信費込。3台分。)【資料5】 11,233円/月×10月=112,330円	304,000	304,000	
6					
7		※上記計7,500千円に対し、萩、長門、美祢の各市 2,500千円ずつ拠出し運営を行う	2,500,000	2,500,000	
8					
9					
10					
		計	2,500,000	2,500,000	0

(経費区分ごとの合計)

区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
総事業費	70,000	0	0	0	143,000	0
交付対象事業費	70,000	0	0	0	143,000	0
区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
総事業費	6,983,000	304,000	0	0	0	2,500,000
交付対象事業費	6,983,000	304,000	0	0	0	2,500,000